

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 の経験からの一意見

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
医療経済学分野 今中雄一
電話 075-753-4454 FAX 075-753-4455
http://med-econ.uimin.ac.jp

背景

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
沿革
位置づけ・構成
カリキュラム
入学者、卒業先

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻

- 2000年4月、我が国初の専門大学院
 - “高度な専門性を持った人材の育成”
 - Master of Public Health (MPH)
 - 専門大学院の2校の内のひとつ
 - もう一方は一橋大国際企業戦略研究科(MBA)
- 2003年4月、専門職大学院
 - 定員22 24名 博士(社会健康医学)は定員12名

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻

- 博士課程
 - 博士(社会健康医学) 定員12名
 - 博士(医学) 医学研究科全体の定員
- 医学部医学科
 - 社会医学の領域を担当
- 全学
 - 全学共通科目など

大学院医学研究科の構成

- 生理系(5)
- 病理系(6)
- 分子医学系(5)
- 脳統御医科学系(4)
- 内科系(15)
- 外科系(12)
- [分子医学系(+2)]
- [脳統御医科学系(3)]
- 社会健康医学系(12)

→ 次頁から列挙
(+5協力分野等)

医療統計学

Biostatistics

臨床研究、疫学研究の計画、実施、解析、報告にかかわる統計的問題についての教育・研究を行う。

医療疫学

Epidemiology and Healthcare Research

医療のプロセスや健康アウトカムの測定とこれに関する種々の要因の解明、さらにプロセスやアウトカムを改善するための実践方法の開発と評価に関する教育・研究を行う。

薬剤疫学

Pharmacoepidemiology

臨床試験のデザインと管理、そして解析並びに副作用モニタリングと防止の方法論について教育・研究を行う。

ゲノム疫学

Genome Epidemiology

ヒトゲノムの変異と生活習慣病の遺伝的相関を、分子生物学的手法を用いて研究する。

医療経済学

Healthcare Economics and Quality Management

医療の経済と質をめぐる社会的・学術的課題の解決に向けて研究・開発と教育を行う。制度・制作、組織、個人など各場の経済性・質・安全のマネジメントシステムも扱う。

医療倫理学

Biomedical Ethics

医療における倫理的問題の分析方法や医療政策を考案する際の基礎理論などについて、国際的観点を視野に入れて教育研究を行う。

健康情報学

Health Informatics

医療のシステムと情報がどのように人の行動や健康アウトカムに影響を与えるのか、インターネットやマスメディアと健康行動との関連などについて教育・研究を行う。

疫学研究情報管理学【寄附講座】

Epidemiological & Clinical Research Information Management

臨床試験を実施していくプロセスで発生した様々な問題に対する解決策について臨床的、生物統計学的側面から教育・研究を行う。

環境衛生学

Health and Environmental Sciences

環境による人間への健康影響の研究を行う。

健康増進・行動学

Health Promotion and Human Behavior

疾病発症の機序の解明とそれに基づく予防戦略構築を行う。

予防医療学【協力講座】

Preventive Services

世界の疫学研究の成果を用いて一次・二次予防を行い、日々の健康管理業務の中で疫学を用いた臨床研究を行う。

社会疫学

Global Health and Socio-epidemiology

人類の健康に影響する諸要因を理解し、かつその改善に寄与すること目的として、疫学と社会科学を統合した社会疫学的方法に基づく実践的研究と教育を行う。

健康政策・国際保健学

Public Health and International Health

わが国および諸外国における保健および医療の制度と活動ならびに国際保健医療協力に関し、その歴史的展開および行政的意義を踏まえ、その開発と評価について、健康政策的観点から教育・研究を行う。

環境生態学【協力講座】

【東南アジア研究センター・人間生態関連研究部門】

Ecology with Emphasis on the Environment

ヒトの感染症の発生・伝播と種々の環境要因との関係について教育・研究を行う。

人間生態学【協力講座】

〔東南アジア研究センター・人間生態関連研究部門〕

Ecological Medicine

ヒトの疾病とりわけ生活習慣病と老化のありさまが、自然環境や文化背景とどのような関連を有するかについて、地球規模におけるフィールド医学的調査にもとづいて研究する。

知的財産経営学【特別コース】

Management of Technology in Medical Science

人類社会に貢献する先端医学領域において、知的財産の創造から活用までを、総合的に管理・経営する能力を備えた高度専門職を養成するための教育・研究を行う。

入学者

- あらゆる領域(医学、医療、法学、生物学・理学、経済学・商学、教育学、社会学、心理学、工学など)
- 医師、歯科医師、コメディカル、法律家(弁護士や元判事)、産業で働いている人(銀行、通信、コンピュータ、メーカー、製薬会社など)、学部卒
- 設立当初は、年齢層高かった(30代、4代が多い)。その後、次第に、若い人が増えた。

就職先

	修士課程				博士後期課程		
	H14修了	H15修了	H16修了	計	H15修了	H16修了	計
進学	8	4	12	24	0	0	0
大学教員	2	0	2	4	1	1	2
研究機関等	4	2	3	9	2	0	2
医療機関	3	6	6	15	1	0	1
保健所	0	1	2	3	0	0	0
産業医	0	1	0	1	0	0	0
企業	2	2	2	6	0	0	0
法律事務所	0	0	0	0	1	0	1
教務関係	0	1	1	2	1	2	3
その他	1	1	3	5	0	0	0
合計	20	18	31	69	6	3	9

() : 入学前と同じ職場
 その他: 家業1名、本学の研究員、研究生2名、博士の休学・中退して助手、の2名は算入せず。

意見など

当該領域の成果の例
 課題例
 新しい試み
 意見・思考例